

ふじのみや探検

第 13 号 縄文時代のひみつ



発行：富士宮市立中央図書館 〒418-0067 静岡県富士宮市宮町 13-1 TEL:0544-26-5062 FAX:0544-26-1284

ひみつ 1

富士宮に縄文人は住んでいたの？

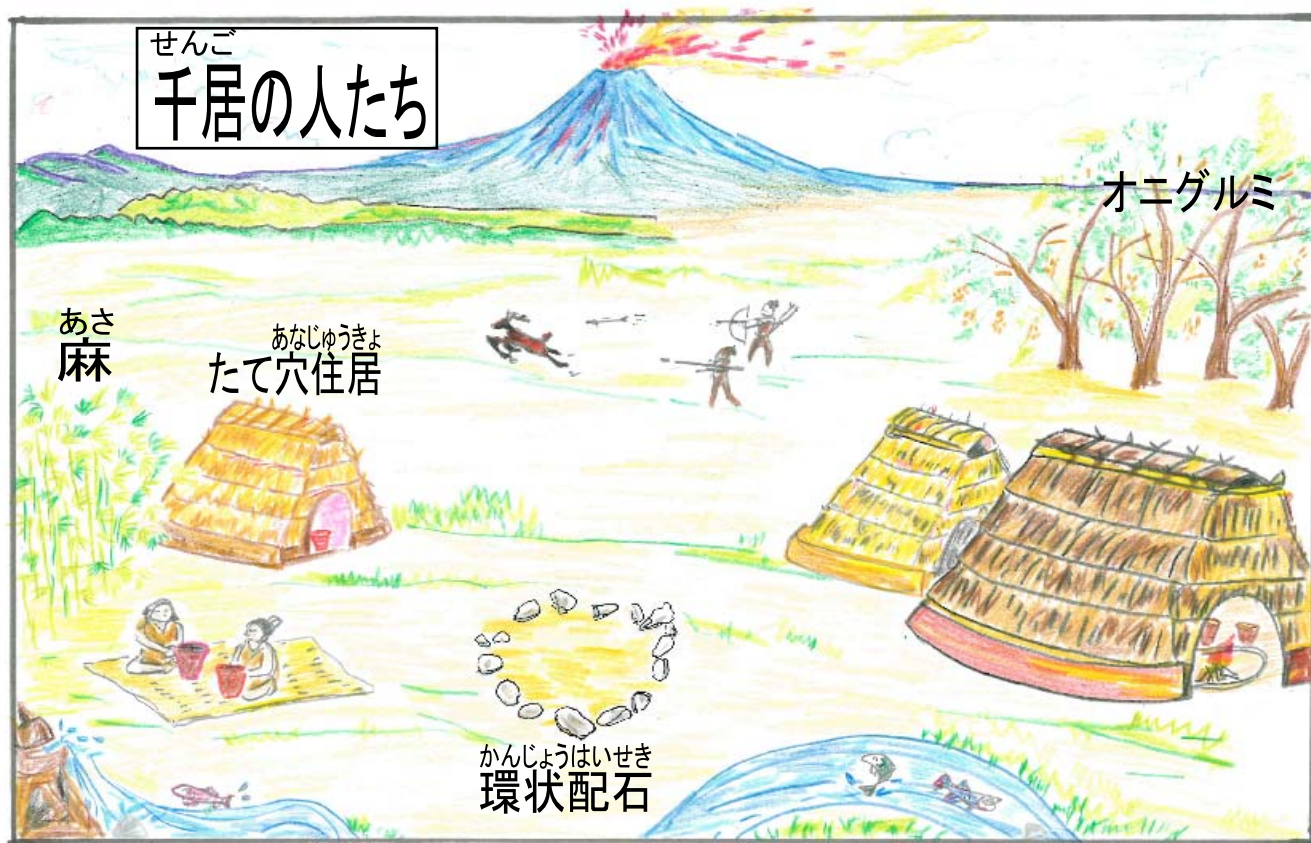
はい。ぼく、千居つよし。10才だよ。きみのいる平成時代より4千年前の縄文時代に生きているよ。つまり、富士宮に住んでいた縄文人ってわけだよ。ここには、学校は、ないよ。「いいなー」って？でも、なかなか縄文時代を生きぬくのは、大変なんだよ。ぼくが住んでいる所は、大石寺の近く、千居だよ。(ぼくの時代には、一面の草原と森林だけどね)じゃあ、ぼくの一日をしょうかいするね。

朝起きて、近くの小川で顔をあらったよ。わき水なのでとても冷たくて、気持ちがいいよ。魚もたくさんいるので、よくつりをするよ。でも、今日は、初めてお父さんと狩りに行くんだ。わくわくするな。朝ごはんは、くるみを焼いたものと魚のスープ、あたたかくておいしいよ。(お米はまだないんだ(-_-))

食事が終わると、お父さんたちと山に出かけたよ。みんなで、大声で、シカを追い出したよ。お父さんが、弓を引きしぼり、エイッと放つと矢は、見事シカに命中したよ。ぼくも、夢中でシカに追いつがりと、やりを投げたよ。おじさんが、石の斧で、とどめをさしたよ。「これで、7日は、暮らせる」と、みんな大喜びだよ。

シカをみんなでかついで帰ると、クルミの林や麻畑で、お母さんたちが収穫していたよ。ぼくは、お母さんに「大きなシカが取れたよ」と手をふったよ。今夜は、全員(20人)広場の石を囲んで、パーティーだよ。

富士山が、ドーンと大きな音をたてて、火をふいたよ。



ひみつ2

なぜ、縄文時代っていうの？

千居つよしくんの住んでいた時代は、日本で初めて土器が作られました。土器には、縄のもようがついていたので、縄文土器とよばれ、この時代を縄文時代とよびます。

みなさんのお母さんは、魚やタケノコを煮たりするのにおなべを使いますね。つよしくんのお母さんは、縄文土器で魚を煮たり、木の実のアクを抜いたりしました。

つよしくんの時代は、今より、あたたかかったので、シカやイノシシ、木の実など豊富に食料が手に入りました。つよしくんたちは、移動しないで、家をたて、決まった場所で生活するようになりました。ここでは、みんなで協力して生活します。家を作るのも、食料をとるのも、土器を焼くのも助け合って行います。お金持ちもびんぼうな人もいません。10軒ぐらいで広場を中心に家をたてていました。

広場には、たくさんの石を丸く円のようにならべたり、帯のように2列にならべたりしてあります。つよしくんたちは石のまわりで何をしていたのでしょうか？キャンプファイヤー？富士山が怒らないようにお祈りをした？つよしくんに聞いてみたいね

◇ことばの説明

○土器・・・ねん土で作った入れ物を、火の回りにおいて焼いたうつわ。縄文土器は、主に、植物や動物を煮たりするのに使った。

○アク抜き・・・木の実などにふくまれる、にが味などをお湯にとけ出させて、たべやすくすること。

○家・・・地面をほり、ほった土をまわりに土手のように固めて水が入らないようにする。柱をたて、ススキやかやなどで屋根をつけたら、できあがり



つよしくんの家（竪穴住居）

ひみつ3

縄文人より前に人は住んでいたの？

住んでいました。今から、2万年以上前になります。場所は、芝川西山の小塚です。ここは丘の上で、水はけがよく、芝川や富士川が近くを流れています。魚もたくさん取れ、森も近くて住みやすいところでした。

つよしくんの住んでいた千居と、にているね。一番ちがうところはどこでしょう？

それは土器がないことです。だからこの時代を先土器時代といいます。お湯をわかしたり、肉や魚を煮たりすることができない生活は、大変でしょうね。

弓矢ありません。シカなど人間より足が速い動物をとるには、どうしたらいいのでしょうか？小塚の人たちは考えました。「そうだ。落とし穴を作ろう」そこで、みんなで協力し、石の斧で大きな穴をほり、草をかぶせてわからなくして、穴のほうにシカを追い立てました。「やったー。シカが取れたぞ」それから、みんなで石のナイフでシカを解体して・・・うーん。大変ですね。

小塚の人たちは、決まった家をたてませんでした。動物を追い、どうくつや岩かげを転々として、生活しました。木の実なども食べましたが、シカ・イノシシ・ウサギなどを主食にしていました。

富士山は、つよしくんの住んでいた縄文時代より、もっとはげしい噴火をくりかえしていました。今の富士山の形がこの時に、できあがりました。



落とし穴

ひみつ4 縄文人のあとにはどんな人が住んでいたの？

淀師にある^{しづさわいせき}渋沢遺跡は、^{かざまつりがわ}風祭川と^{うるいがわ}潤井川が^{ごうりゅう}合流するところにあります。^{とみおかしょうがっこう}富丘小学校の南です。ここから2千2百年前の土器が見つかりました。それを見ると縄文土器よりずっとうすく、軽く、色も高温で焼かれるので赤くなります。明らかに、全くちがう文化を持った土器が作られたのです。そこで、この時代の土器を^{やよいどき}弥生土器といいます。つまり^{やよいじん}渋沢遺跡には弥生人が住んでいたことになります。

縄文時代の終わりから弥生時代にかけて、米作りも始まりました。鉄や^{せいどうき}青銅器も使われるようになりました。そうするとたくさんのお米や^{ぶき}武器を持つ人とそうでない人の間に、^{ひんぶ}貧富の差ができました。

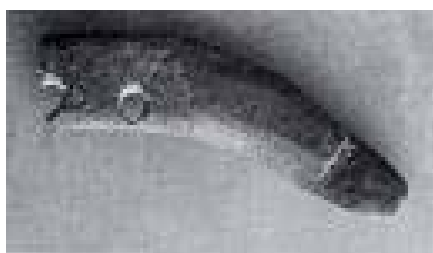
お米は、たくさんの人を^{やしな}養うことができます。日本の各地には、小さな国ができ、このころ百万人ぐらの^{やよいじん}弥生人が住むようになりました。

渋沢遺跡からは、ざんねんながら、鉄は見つかりません。長い年月の間にさびて、なくなってしまったのでしょうか。でも、米作りをやっていたしょうこがあります。それが、下の^{いしほうちょう}しゃしんの石包丁です。渋沢遺跡で見つかりました。渋沢の人たちが、これを使って^{いね}稲のほをかりとっていたのを^{そうぞう}想像すると、わくわくしますね。

◇ことばの説明

○遺跡・・・むかしの人の生活のあとがのこっている場所。

○青銅器・・・銅とすずで作られた^{けん}剣・^{かがみ}鏡など
弥生時代にはたくさん作られた。



^{いしほうちょう}
石包丁

まめ知識 縄文人の土器はどこで見られるの？

富士宮市には、つよしぐんの住んでいた^{せんご}千居のような縄文時代の^{いせき}遺跡が155か所あります。(すごい!) 縄文人は、日本に26万人しかいなかったのに、こんなにたくさんの遺跡があるのはおどろきですね。^{くに}国指定史跡(国が大切と決めた遺跡)は、^{せんごいせき}千居遺跡・^{おおしか}大鹿^{くばいせき}窪遺跡など2か所あります。まさに、地面の下は、宝の山ですね。

じつは、今年、これらの遺跡から出てきた土器などを見学できるところができました。^{ふじのみやしまいぞうぶんか}富士宮市埋蔵文化^{ざい}財センターです。ここの^{てんじしつ}展示室には、遺跡から出てきた土器・^{せっき}石器などが、たくさんならべてあります。また、遺跡が、どこにあるかなども、わかりやすく^{しょうかい}紹介しています。かかりの人があなたに親切に教えてくれます。「土器を作ろう」などの体験学習も時期によって開かれます。ホームページで調べましょう。ぜひ一度おうちの人と行ってみましょう。

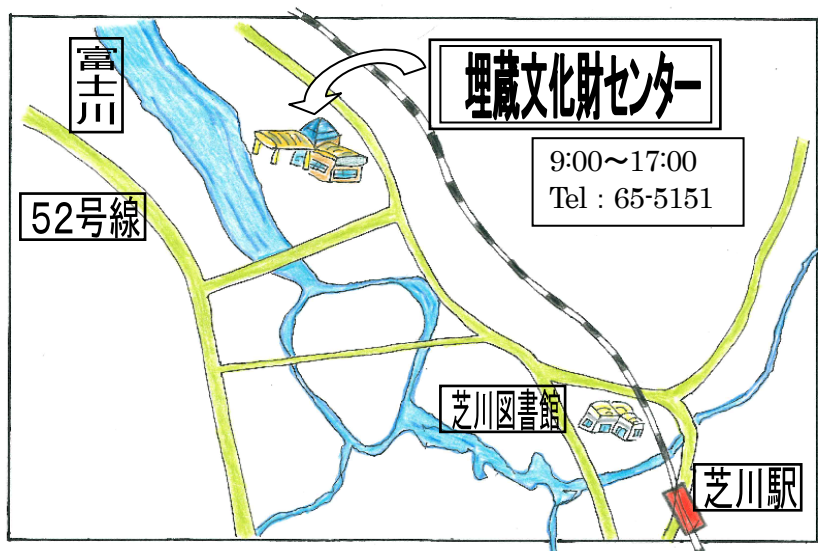
富士宮には、まだまだ発見されていない遺跡が、たくさんあります。

おとなになったら、みんなの力で、2万年も続く富士宮の歴史をもっとわかるようにしてください。

◇ことばの説明

○埋蔵文化財・・・地面の下から見つかった、昔の人が使っていたもの。

○石器・・・石で作った^{ほうちょう}包丁・^{おの}斧・やりや^{ゆみ}弓の先など。





※集落...人が集まり住んでいる所。



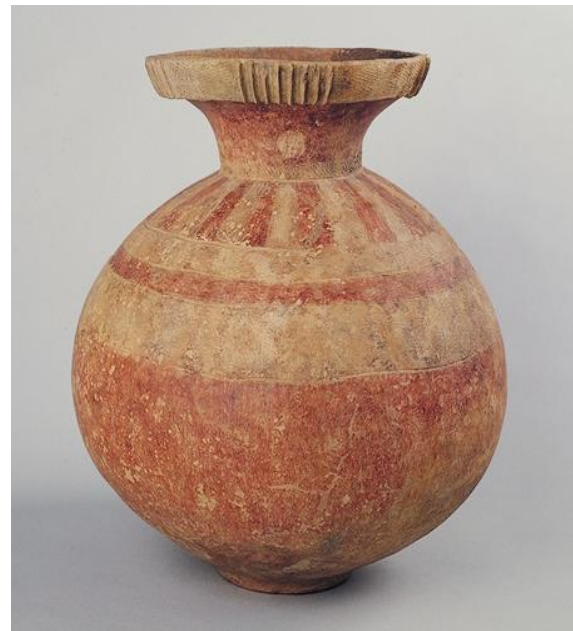
千居遺跡



埋蔵文化財センター



縄文土器



弥生土器

◇『第13・縄文人のひみつ』は、次の資料をもとに作りました。

- 1 『千居』 小野真一／耕文社 1975
- 2 『千居遺跡範囲確認調査報告書』 富士宮市教育委員会／三扇美術 2010
- 3 『富士宮—中学校社会科地域学習資料—』 富士宮市教育委員会／木内印刷 1213
- 4 『小塚遺跡』 芝川町教育委員会／みどり美術 1995
- 5 『渋沢遺跡』 富士宮市教育委員会／緑星社 1989
- 6 『富士宮市のあけぼの』 富士宮市教育委員会／緑星社 1990
- 7 『富士宮歴史散歩』 遠藤秀男／緑星社 1980
- 8 『図説人口で見る日本史』 鬼頭宏／PHP 研究所 2007
- 9 『ここまでわかった! 縄文人の植物利用』 工藤雄一郎／新泉社 2014
- 10 『富士宮市史』 富士宮市史編纂委員会／図書印刷 1971

